

絆

きずな

KANKEN

Vol.46[夏号]

2017年7月発行



カンケン・フロンティア Frontier

発行／菅野建設工業株式会社 福島県本宮市長屋字征矢田6 TEL.0243-44-2120(代)



原子力災害避難者のための新たな生活拠点

復興公営住宅「二本松市若宮団地」

工事概要

- 工事名／復興公営住宅整備工事(建築・若宮)
- 所在地／二本松市若宮二丁目地内
- 発注者／福島県知事
- 工事内容／住棟/プレキャストコンクリート造(基礎RC造)4階建
集会所/木造平屋建、物置32棟、駐輪場3棟、ガス庫1棟、ゴミ庫1棟
- 延床面積／住棟/2,493.37m²、集会所/99.37m²
- 設計・監理者／株式会社杜設計
- 現場担当者／(建築)高橋夏樹・矢川智教 (外構)五十嵐謙

ごあいさつ

代表取締役

菅野 泰助

「転換期」



あるという意識付けが、微力ながら多くの方々に理解されたと感じています。

しかし、いまこの業界はターニングポイントに差しかかっていると思います。如何に社会貢献・地域への貢献を推進しても、人材確保と技術力・人間力の伝承が達成できなければ、企業繁栄は成り立ちません。

今こそ、仕事量の変化や発注工種の変化(インフラ維持管理)への対応、働き方改革推進による仕事と生活の調和、IoTやICT導入による生産性・効率性の向上など、人手不足に伴う課題への対処を求められる”転換期”であると感じています。

これから建設産業の方向性というものをしっかりと見定められる先見性と行動力を養えるよう、日々努力していく所存でありますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

東日本大震災から丸6年、熊本地震から丸1年という歳月が経過しました。被災地の復興事業計画が少しずつ実現化され、福島県においても原子力災害の記憶が薄れつつも、建設産業は復興創生へ向け着実に貢献してきました。そして何よりも、地域の人々の安全・安心を確保するには、社会基盤整備の担い手である建設業の力は不可欠であること、地域を守り育て、人々の生活を支えるのが建設産業で

ふるさとを離れて暮らす避難者の方々の生活基盤となる集合住宅 復興公営住宅「二本松市若宮団地」が完成しました。



復興公営住宅 室内

平成23年3月の東日本大震災での原子力災害により故郷から離れて暮らす避難者の生活基盤となる復興公営住宅の整備が現在、急ピッチで進められております。県内の復興住宅建築計画は9エリアに分けられ、総戸数4,890戸のうち2017年5月末現在では、全体の71%にあたる3,499戸が完成しております。そんな中当社で工事を進めておりました、二本松市若宮団地が2017年5月18日完成致しました。

二本松市若宮地区は、二本松駅が近く、市街地に位置し、病院・学校・警察署、生活に欠かせない商業施設などに囲まれた好立地にあり、建物は総戸数32戸、プレキャストコンクリート造(基礎RC造)4階建の集合住宅で、中央にはエレベーターがあり、各戸の玄関前には、エアコンの室外機などが設置可能なスペースを設けるため、廊下壁面の一部を後退させています。



復興公営住宅 対話型キッチン



復興公営住宅 玄関前アルコープ



集会所 外観



集会所 室内

このスペースは機材の設置だけが目的ではなく、隣人の方などと、立ち話が出来るようなコミュニケーションスペースを創出しています。室内はバリエーション設計のキッチンが設置された部屋もあります。

さらに敷地内には、南側にベンチのある公園があるほか、木造平屋建の集会所も建設しています。室内は木造である事を活かし、床・壁・天井に至るまで、木の温もりが感じられる造りです。和室やキッチンが設置され、特別な集会時以外でも、憩いの場として利用できる場所となっています。

避難されている方々の第2の故郷として、また一つ福島県の復興を大きく担う住宅整備に携わる事ができました。

これにとどまらず、私たちが出来る事に全力で取り組むことで福島県の更なる復興へ一同、尽力して参ります。

安全祈願祭

当社施工物件の起工式をご紹介いたします

太郎田水源浄水処理施設 設置工事



鍛入れをする 二本松市上下水道部水道課 寺島徹主査 様

- 期日／平成29年1月18日
- 所在地／二本松市西新殿字太郎田 地内
- 発注者／福島県二本松市
- 工事内容／浄水場棟築造工一式、場内配管工一式、場内付帯工一式、機械設備工一式、電気設備工一式
- 延床面積／61.9m²
- 完成予定日／平成29年8月31日

NOK株式会社二本松事業場 第6棟切削棟新築工事



鍛入れをする NOK(株)オイルセル事業部 務務部環境安全課 安藤喜栄専門主事 様

- 期日／平成29年2月13日
- 所在地／二本松市宮戸30番地
- 発注者／NOK株式会社
- 工事内容／工場(自動車部品・附属品製造業) /鉄骨造平屋建
- 延床面積／1,260.4m²
- 完成予定日／平成29年8月31日

株式会社帝北ロジスティックス 西第二物流センター新築工事



鍛入れをする (株)帝北ロジスティックス 尾建一社長 様

- 期日／平成29年2月25日
- 所在地／福島市庄野字石田1番1他 地内
- 発注者／株式会社帝北ロジスティックス
- 工事内容／倉庫(倉庫業を営む倉庫) /鉄骨造平屋建
- 延床面積／3,330.15m²
- 完成予定日／平成29年9月15日

白岩生コン株式会社 事務所改修 並びにプラント改修他工事



鍛入れをする 白岩生コン 菅野忠男社長 様

- 期日／平成29年3月1日
- 所在地／本宮市長屋字中島27-1、27-2 地内
- 発注者／白岩生コン株式会社
- 工事内容／①プラント改修工事、②事務所改修工事、③休憩所改修工事
- 完成予定日／平成29年6月30日

有限会社ファイン堆肥熟成棟 新築工事並びに造成工事



鍛入れをする (有)ファイン 白土四郎社長 様

- 期日／平成29年3月7日
- 所在地／二本松市木幡字下立石 21、151、154 地内
- 発注者／有限会社ファイン
- 工事内容／堆肥熟成施設/鉄骨造平屋建
- 延床面積／480.00m²
- 造成面積／3,013.74m²
- 完成予定日／平成29年7月31日

(仮称)まゆみ学園 認定こども園 新築工事



鍛入れをする 学校法人まゆみ学園 古渡一秀理事長 様

- 期日／平成29年3月13日
- 所在地／二本松市油井字石倉 74-1、80-1、81-98-1の一部
- 発注者／学校法人 まゆみ学園
- 工事内容／幼保連携型 認定こども園 /鉄骨造2階建
- 延床面積／1,823.52m²
- 完成予定日／平成29年12月30日

さくらクリニック増築工事



鍛入れをする さくらクリニック 浅和定徳院長 様

- 期日／平成29年4月7日
- 所在地／二本松市藤之前53、54-1地内
- 発注者／浅和定徳
- 工事内容／診療所 (患者の収容施設なし)/木造2階建
- 延床面積／279.2m²
- 完成予定日／平成29年10月31日

平成28年度 大玉村直壳所 新築工事(繩越事業)



鍛入れをする 大玉村 押山和一村長 様

- 期日／平成29年5月11日
- 所在地／安達郡大玉村大山字新田 地内
- 発注者／福島県大玉村
- 工事内容／店舗/木造平屋建
- 延床面積／537.34m²
- 完成予定日／平成29年12月28日

竣工&お引渡し

竣工・お引渡し物件をご紹介いたします

佐久間工業株式会社 工場新築工事



- 所在地／本宮市本宮字小幡17 地内
- 発注者／佐久間工業株式会社
- 工事内容／工場/鉄骨造平屋建
- 延床面積／914.76m²
- 設計・監理者／有限会社真島・建築設計事務所
- 現場担当者／斎藤裕一

株式会社マルサン郡山営業所 新築工事



- 所在地／郡山金屋字川久保53-1、53-2
- 発注者／株式会社マルサン
- 工事内容／事務所棟/木造平屋建 倉庫棟A/鉄骨造平屋建 倉庫棟B/鉄骨造平屋建 倉庫棟C/鉄骨造平屋建
- 延床面積／事務所棟/49.68m² 倉庫棟A/66.40m² 倉庫棟B/132.80m² 倉庫棟C/106.24m²
- 設計・監理者／有限会社鈴木設計
- 現場担当者／大原修一

小規模多機能型居宅介護事業所 新築工事



- 所在地／二本松市百目木字町49、50地内
- 発注者／株式会社Cuore樵
- 工事内容／小規模多機能型居宅介護事業施設 /木造平屋建
- 延床面積／171.00m²
- 設計・監理者／
- 有限会社武藤健一設計事務所
- 現場担当者／渡邊優輝・大原修一

コモンステージ安達南 造成工事



- 所在地／二本松市油井字大窪98番地 地内
- 発注者／積水ハウス株式会社福島支店
- 工事内容／造成工事 A=2.2ha、区画道路一式、上下水道工一式、公園工一式
- 現場担当者／松兼俊夫・大橋功

公共災害復旧工事(河川) 【移川筋】



- 所在地／二本松市上長折字花崎 地内
- 発注者／福島県県北建設事務所
- 工事内容／復旧延長 L=26.6m、積プロック工 A=27.1m³、張プロック工 A=68.0m³、根継工 L=13.0m、張芝工(野芝) A=10.5m³、張芝工(人口芝) A=5.6m³
- 現場担当者／菅野勝広

道路橋りょう整備(地活)工事(改良) 【石筵本宮線】



- 所在地／安達郡大玉村玉井 地内
- 発注者／福島県県北建設事務所
- 工事内容／改良舗装工 L=456.5m, W=6.0(8.0)m、掘削工 V=4,198.2m³、盛土工 V=2,791.1m³、下層路盤工 A=3,829.9m³、上層路盤工 A=4,019.9m³ 表層工 A=4,396.9m³
- 現場担当者／荒金真聰・佐藤敦志

市町村合併支援道路整備工事 (橋梁下部)【国道459号】



- 所在地／二本松市西新殿 地内
- 発注者／福島県県北建設事務所
- 工事内容／橋梁下部工 N=2基 (逆T式橋台、直接基礎)A1・A2 仮設工一式
- 現場担当者／佐藤裕樹

生活基盤緊急改善工事(舗装) 【霊山松川線】



- 所在地／伊達郡川俣町大字秋山 地内
- 発注者／福島県県北建設事務所
- 工事内容／舗装工 L=116.7m, W=5.5(7.5)m、A=1,120.1m³、下層路盤工(不陸整正) A=634.4m³、上層路盤工 A=606.4m³、上層路盤工(不陸整正) A=419.3m³
- 現場担当者／塩川和哉

エルティー安達 住宅団地造成工事



- 所在地／二本松市油井字石倉83-2、83-3 地内
- 発注者／K-Style Design株式会社
- 敷地面積／2,775.62m²
- 現場担当者／松兼俊夫

施工中物件紹介

株式会社帝北ロジスティックス 西第二物流センター新築工事



- 所在地／福島市庄野字石田1番1他 地内
- 発注者／株式会社帝北ロジスティックス
- 工事内容／倉庫(倉庫業を営む倉庫)/鉄骨造平屋建
- 延床面積／3,330.15m²
- 現場担当者／斎藤裕一・丹内直人
- 完成予定期／平成29年9月15日

道路橋りょう整備(再復)工事(改良)【国道349号】



- 所在地／伊達郡川俣町大綱木 地内(国道349号)
- 発注者／福島県県北建築事務所
- 工事内容／総延長:L=4.2km
大綱木1工区:L=約2.06km 大綱木2工区:L=約2.16km
- 現場担当者／小野豊美・斎藤祐樹・渡辺祐太
- 完成予定期／平成29年9月29日

落札・契約物件紹介

土木

- 【2月】◆エルティー安達 住宅団地造成工事【二本松市】
 - ◆道路橋りょう整備(再復)工事(改良舗装)【国道459号】【二本松市】
- 【3月】◆道路橋りょう整備(再復)工事(改良)【飯野三春石川線】【本宮市】
- 【5月】◆前田道路(株)郡山木材工場 南側造成復元工事【郡山市】

建築

- 【1月】◆前田道路(株)郡山木材工場 ストックヤード改修工事【郡山市】
 - ◆白岩生コン(株)事務所改修並びにプラント改修工事【本宮市】
 - ◆NOK(株)二本松事業場 第6棟切削棟新築工事【二本松市】
 - ◆(有)ファイン 堆肥熟成棟新築工事【二本松市】
- 【2月】◆(株)帝北ロジスティックス西第二物流センター新築工事【福島市】
- 【3月】◆(仮称)まゆみ学園認定こども園新築工事【二本松市】
- 【4月】◆宮城シマダ(株)郡山工場 資材倉庫新築工事【本宮市】
 - ◆さくらクリニック増築工事【二本松市】
- 【平成28年度 大玉村直売所新築工事【大玉村】

event of company 社内行事

平成29年 入社式・辞令交付式

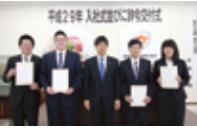
4月1日、当社多目的ホールにて平成29年度の入社式・辞令交付式が行われました。今年度は新卒者4名(奈良和海氏、武田俊介氏、古宮寿紀氏、齋藤七海氏)が入社しました。

また、新年度職位改定に伴い、土木本部・管理本部から3名が職位変更として辞令を交付されました。

式の中で菅野社長から「最近は年度末ということもあって、竣工現場が多くあったわけですが、これまでにおいても土木工事・建築工事ともに発注者の評価は絶大なものがある常々感じています。これも現場所長をはじめ、各現場に携わった当社社員と、各本部のサポート、そして多くの協力会社の方々の努力や取組みが、お客様に高く評価いただけている状態である事を、大変誇りに思います。」と挨拶されました。



当社菅野社長による挨拶



左から奈良和海氏、武田俊介氏、古宮寿紀氏、齋藤七海氏

平成29年 新卒者採用に伴う会社説明会

3月16日、平成30年度3月卒業予定者を対象とした日本大学工学部就職セミナーが開かれました。当社のブースを訪れた16名の学生が熱心に説明を聞いていました。また、5月27日、新卒者採用に伴う会社説明会を開催し、前述のセミナーに参加した学生のうち3名が参加し、説明を受けました。

今後、採用試験が行われ、厳正な審査をした後、平成30年度4月からの採用者が決定する予定です。



日本大学工学部就職セミナーの様子



建築作業所での見学の様子(会社説明会)



土木作業所での見学の様子(会社説明会)

献血活動

5月13日、本社駐車場において今年初めての献血活動が実施され、今回も仕事の合間を縫って当社社員をはじめ、関係協力会社のご協力をいただき約50名から貴重な善意が寄せられました。



献血の様子

二本松工業高校 講演会



講演の様子(当社菅野社長)

5月23日、二本松工業高等学校において、都市システム科1年生40名を対象に当社菅野社長が講師を務め、「日本を支える。~地域建設産業の使命~」をテーマに講演が行われました。

土木や建設業が生活にどのように密接に関わっているかなど、その重要性や大切さを話させていただきました。

講義を聞いた学生は「将来、土木技術者になる夢の実現に向けて、日々学習していきたい」と、建設業に対する思いを一層強くしていました。

第5-2回ISO品質サーベイランス実施

6月23日本社において、第5-2回品質ISOサーベイランスを実施しました。

サーベイランスにあたり審査員3名(竹岡忠義氏、久末研典氏、服部由二氏)が経営責任者、品質管理責任者、品質管理部、管理本部、営業本部(二本松支店・福島支店含む)、土木本部、建築本部(設計部門を含む)、作業所(土木/太郎田水源浄水処理施設設置工事、建築/NOK(株)二本松事業場第6棟切削棟新築工事)の審査を実施。審査チーム会議にて、リーダーの竹岡忠義氏より講評をいただきました。

今後も継続的に「高品質」を追求してまいります。



本社審査の様子



建築作業所での審査の様子



土木作業所での審査の様子

地域貢献への美化活動

社会・地域貢献活動の一環として、6月16日に復興公営住宅整備工事(建築・若宮)の現場周辺の美化活動を実施しました。

当日は当社社員、協力会社合わせて16名が参加し、地域のご協力に感謝し、紙くずやペットボトル、ビニール類のゴミを分別しながら回収するなど、熱心に取り組みました。



復興公営住宅整備工事(建築・若宮)現場周辺

建設事業無災害表彰

工期間内において無災害であったことを受け、6月15日に「復興公営住宅整備工事(建築・若宮)」について、厚生労働省労働基準局長より表彰状を授与されました。

日頃より、会社一丸となって無事故・無災害を強く意識し、社員一人ひとりが安全確認の徹底や安全意識の向上に努めているおかげだと認識しております。

これからも各現場で安全に関して十分な注意をしていただけるよう、継続して周知徹底をしていきたいと思います。



表彰状

左から、福島労働基準監督署 松野正佳署長、当社菅野社長、三浦勝弘専務取締役建築本部長、高橋夏樹氏(現場代理人)

安全運転管理者協会長連名表彰

5月22日、ネーブルシティもとみやaubeにて郡山北警察署長と本宮地区安全運転管理者協会長の連名で、安全運転管理者表彰式が行われました。

安全運転業務を積極的かつ適切に行い、交通安全の推進に多大な功績が認められたということで、当社の上杉利彦氏が優良安全運転管理者として表彰されました。

業務を通じ、さらなる安全運転意識、交通マナーの向上に努めてまいります。



表彰を受けた上杉利彦氏

社員研修会実施



八ッ場ダム 工事現場

6月9日~10日の1泊2日で社員研修会が行われ、群馬県吾妻郡長野原町にある八ッ場ダムと、長野県北佐久郡軽井沢町にある軽井沢千住博美術館を視察、研修しました。

この視察には116名の社員が参加し、生の現場や完成度の高い作品を直接見てもらい、知識と資質の向上さらには、社員間の親睦・コミュニケーションの強化を目的として実施しました。

特にダム建設においては、川の流れを遮る本体工事や付帯事業などがあり、現場視察を通して社員一同多くの学びを感じ取りました。

千住博美術館では、やわらかな館内のフォルムもさることながら、自然採光や開放感、自然との調和など得るもの多い視察となりました。

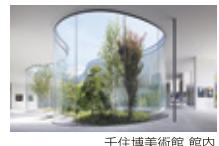
今回で2回目となる社員研修は、これからも継続し開催して行くことで、社員一人ひとりが業務の質を高めていく事を期待しています。



見学の様子(八ッ場ダム)

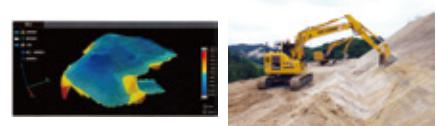


工事説明の様子(八ッ場ダム)



千住博美術館 館内

ICT導入・VR体験会



ICT建設機械による施工の様子

i-Construction(アイ・コンストラクション)は建設現場の生産性向上を目的とした国土交通省が推進する施策で、測量、設計、施工・施工計画、検査の一連の工程に3Dデータを活用しようという取り組みです。

当社でもドローンで3D測量を行い、そのデータを用いて、ICT建設機械による施工、検査に至るまで3Dデータを活用した施工を開始しております。これにより、従来の施工に比べ、大幅な作業の効率化や安全性の確保につながっていく事が期待されます。

こうしたICT技術の導入で、さらなる品質の向上と効率化を図ってまいります。

また、4月21日当社においてVR体験会が行われ、現場における危険訓練や安全教育など、現場の生産性向上につながる最新技術を体験しました。



VR体験の様子



菅野建設工業は福島ユナイテッドFC、福島ホーリースを応援しています。